

電子ジャーナル執筆要領
(タイトルは 16p 游ゴシック)
— サブタイトル (14p 游ゴシック) —
Title of paper : Sub Title
(16 point Times New Roman)

著者 1 (游ゴシック 12 p) 著者 2 ※1

※1 外部共著者の所属があれば記載、学内者は不要 (10 p 游ゴシック)

はじめに 200 字程度の要約を記載する。ジャーナルを迅速かつ低コストで出版するために、PDF による発行を採用する。この方式では、著者が作成した電子文書が基本的にはそのまま最終的な製版に使用される。したがって、読みやすいジャーナルを発行するためには、著者の方々の協力が不可欠である。また、発行に関わるすべての人々の労力を軽減するためにも、原稿作成に際しては本執筆要領を活用していただきたい。

キーワード：5 個程度のキーワードを 1 行で記載、キーワード 1、キーワード 2

1 執筆から発行まで (12 p 游ゴシック)

本執筆要領は、そのまま論文の入力フォームとして利用できる。著者は、このフォームに直接入力して原稿を作成できる。執筆から発行までの手順は次の通りである。

- ① このフォームを利用し、Word で原稿を執筆し、PDF で保存する。
- ② 原稿ファイル(Word および PDF ファイルの二つ)を編集担当へ提出する。
- ③ 編集委員会で確認を行う。
- ④ 編集担当者は、目次を作成する。
- ⑤ 著者校正 (目次とページ番号等を含む)
- ⑥ 電子ジャーナルを発行する。

2 原稿の構成

2.1 標題

標題は和英両文で書く。ただし、英文等の場合は、和文

はなくてもよい。文字サイズとフォントを、16 ポイント・游ゴシックとし、中央揃えする。サブタイトルがある場合 14 ポイント・游ゴシックで記載する。

なお、英文タイトルは原則として、名詞、代名詞、動詞、形容詞、従属接続詞、副詞、5 文字以上の等位接続詞と前置詞は、各英単語の頭を大文字にする。

2.2 著者名・所属

12 ポイント・游ゴシック、中央揃えとする。外部との共著がある場合、著者と所属機関の対応を※などで明示し、著者名の下に記す (10 ポイント・游ゴシック)。

2.3 要約

200 字程度の要約を和文で記述する (9 ポイント・游明朝)。

2.4 本文

10ポイント・游明朝で記載する。なお句読点は「、と。」とし、ページ設定は次の通りとする。

原則として、算用数字・英文字は半角、鍵括弧等の記号は全角で記載する。

- ・ 用紙サイズ A 4
- ・ 余白 上 25mm、下 25mm、左右 18mm
- ・ 10ポイント・明朝
- ・ 2段組：段の幅 26 字、行数 40 行

2.5 見出し・小見出し

見出しは 12ポイント・游ゴシック、小見出しは 10.5ポイント（もしくは 10ポイント）游ゴシックで記載する。また、見出しは原則として上に一行空けて中央揃えする。小見出しの場合、原則として上に一行空けるが、見出し・小見出しが連続している場合には空けない。

見出し・小見出しは、図 1 に示すように、半角数字で連番を振って記載する。

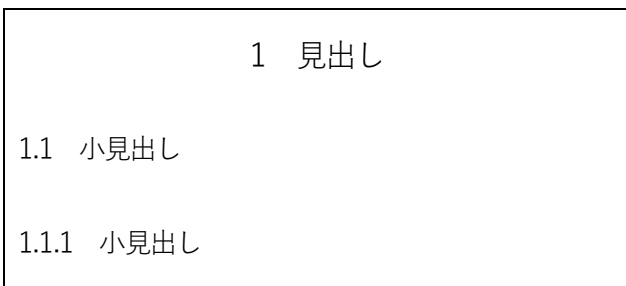


図 1 見出し・小見出しの書式

2.6 図表

図表は本文中に貼り付け、キャプションを付ける。¹⁾

3 引用・参考文献等について

ハーバード方式（著者名・発行年方式）に準じて記載する。本文中には、参考文献等を（著者名の姓 発行年（必要な場合）引用ページ数）のように記載し、論文の最後に出典をまとめて記載する。

【本文の記載】

例① 信愛の先生は私が信愛生であったとき同様、「自

分の言葉」で話し、生徒に体当たりし、心を通わせようとする先生ばかりです（森田 2017）。

例② 森田は愛することについて論じるなかで、「大切に、心するためにはまずその人を、その物をよく知らなければなりません」（森田 2017 p.1）と述べている。

例③ 森田は、自分自身を知ることが、隣人を愛することに結び付くと指摘している（森田 2017 pp.1-2）。

例④ 信愛太郎は、和歌山県の教育について～と指摘している（信愛 2019a、信愛 2019b）。

例⑤ 森田（2017）や信愛（2019a）は、信愛教育の重要性を論じている。

【参考文献の記載】

<書籍の場合>

著者名（発行年） 『書籍のタイトル』 出版社等
森田登志子（2017） 『込めて』 学校法人和歌山信愛女学院

<論文の場合>

著者名（発行年） 「論文タイトル」 『論文が掲載された雑誌名』 巻号 論文の掲載ページ数
著者名 1・著者名 2・著者名 3（発行年） 「論文タイトル」 『論文が掲載された雑誌名』 第 xx 巻 第 xx 号 pp.000-999

信愛太郎（2019a） 「論文タイトル」 『わかやま子ども学総合研究センタージャーナル』 Vol.000 No.000 pp.10-20

信愛太郎（2019b） 「論文タイトル」 『わかやま子ども学総合研究センタージャーナル』 Vol.000 No.000 pp.21-31

<ウェブサイトの場合>

著者名 「記事名やホームページの名称」 URL アクセス日

文部科学省初等中等局特別支援教育課 「障害のある児童生徒の教材の工夫について 報告」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1339727.htm 2019 年 12 月 15 日閲覧

<洋書・洋雑誌等の場合>

※以下の例を参考に、依拠する学問分野の慣例に倣って

ご記載ください。

(例) Field, J. (2014) *Learning Support in Higher Education*, London: TU Press.

(例) Jones, K. (2014) *Learning Environment in Higher Education: Service-Learning for Citizenship*, London: TU Press. (=2016, 宮城政宗訳『高等教育の学習環境』仙台出版。)

(例) Green, M. (2008) “Academic Writing in Higher Education”, *Journal of Writing Education*, Vol. 7, pp. 8-16.

図2 ハーバード方式の記載例

なお、図2において、2019aや2019bは、同一著者が同じ年に発行した文献を参考にしていることを示している。

参考文献リストは、和文献／洋文献を区別し、筆頭著者の姓の表記に基づいて、五十音順／アルファベット順にまとめる。そして、論文末尾に和文献から順に記載する。

謝辞

本研究は、科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号xxxx)の助成によるものである。

註

- 1) キャプションは、原則として図の場合は下に、表の場合は上に、9ポイント・游ゴシックで記載する。
- 2) 脚註は、片括弧の連番を振って本文中に示すとともに、参考文献の前にまとめて記載する。

参考文献

信愛太郎 (2019) 「論文タイトル」 『わかやま子ども学総合研究センタージャーナル』 Vol.000 No.000 pp.10-20
森田登志子 (2017) 『込めて』 学校法人和歌山信愛女学